

- 問1 江戸時代後期の19世紀、日本橋を出発点とする街道の宿場町を鮮やかに描き、庶民の旅への憧れをかき立てた風景画のシリーズ『東海道五十三次』。この作品を描いた、安藤広重の名でも知られる浮世絵師は誰か。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. 黒田清輝 2. 歌川広重 3. 雪舟 4. 菱川師宣
- 問2 日本の耕地面積の推移をまとめた統計によると、江戸時代が始まったばかりの十六世紀末には約百六十四万町歩であった全国の耕地面積が、十八世紀前半には約二百九十七万町歩へと、約百二十年あまりで二倍近くにまで急増しています。このような変化が起こった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 奈良時代から続く班田収授法が江戸時代になって厳格に運用され、全ての農民に均等に土地が配られたため 2. 明治政府が土地の所有権を認め、地券を発行することで、農民が自由に土地を売買・開墾できるようになったため 3. 平安時代に出された墾田永年私財法により、開墾した土地を永久に私有することが認められ、意欲が高まったため 4. 幕府や藩が大規模な治水工事や灌漑事業を主導し、農民や町人の力も借りて積極的に耕地を増やしたため
- 問3 下総国佐原（現在の千葉県香取市）で名主を務めた後に隠居し、50歳を過ぎてから江戸で天文学や測量術を学び、約17年をかけて日本全国を歩いて実測による正確な日本地図を完成させた人物は誰ですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 間宮林蔵 2. 新井白石 3. 伊能忠敬 4. 杉田玄白
- 問4 江戸時代、近畿地方の大阪湾に面した場所に位置する大坂（大阪）は、全国の商品が集まる商業の中心地として「天下の台所」と呼ばれました。諸大名が大坂に設置し、領地から送った年貢米や特産物を保管・販売するために利用した施設を何といいますか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 蔵屋敷 2. 本陣 3. 問屋場 4. 唐人屋敷
- 問5 江戸時代の文化や学問における、人物とその功績の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 葛飾北斎が、『古事記』の研究を通して、日本古来の考え方を明らかにする国学を大成させた。 2. 近松門左衛門が、日本全国を巡り、各地の特産物や地理的特徴をまとめた農政学を確立した。 3. 伊能忠敬が、日本全国を実際に歩いて測量し、精度の高い日本地図を作成した。 4. 本居宣長が、風景画の連作である「富嶽三十六景」を完成させ、浮世絵の新しい境地を開いた。
- 問6 江戸時代初期に九州の島原や天草で発生した大規模な一揆である「島原・天草一揆」が起こった主な背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 幕府や藩によるキリスト教徒への弾圧に加え、凶作の中でも領主が重い年貢を課したこと 2. 室町時代から続いていた勘合貿易が制限され、海外との自由な取引を求める商人が蜂起したこと 3. 豊臣秀吉による刀狩に反発した農民たちが、自衛のために武器の保持を求めて立ち上がったこと 4. 開国を求める外国船の来航が相次ぎ、幕府の鎖国政策に反対する勢力が武力行使に出たこと
- 問7 17世紀、日本との朱印船貿易によって東南アジア各地に日本町が形成された。このうち、東南アジアの略地図においてインドシナ半島の中央部（現在のタイ付近）に位置し、山田長政が王室に仕えて活躍した都市はどこか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
1. マカオ 2. マニラ 3. ジャカルタ 4. アユタヤ
- 問8 第8代将軍・徳川吉宗が行った「享保の改革」において、幕府の財政を立て直すために採用された、年貢の徴収に関する方針として最も適切なものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 年貢をすべて金納に切り替え、米の価格変動が財政に与える影響を排除した 2. 飢饉対策を優先するため、豊作の年でも年貢の割合を低く抑えるよう命じた 3. 農民の負担を軽減するため、商人の利益に課税する仕組みを優先した 4. 幕領の石高に対する年貢高の割合を高く維持し、収入の安定と増加を図った
- 問9 江戸時代を「近世」という一つの時代区分として捉える際、その政治的な背景として欠かせない仕組みは何ですか。将軍が全国の土地を把握し、大名にその統治を認める代わりに軍役や忠誠を求める、武家政権による安定した統治システムを指す言葉を答えなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 幕藩体制 2. 版籍奉還 3. 郡県制 4. 封建制度
- 問10 江戸幕府は、農民が田畑を永代にわたって売り買いすることを禁じた「田畑永代売買禁止令」や、米以外の作物を勝手に育てることを制限する「田畑勝手作の禁止」などの法令を相次いで出しました。幕府がこのような厳しい制限を農民に課した最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 商工業を奨励して、商人から徴収する税金を財政の新たな柱とするため 2. キリスト教の浸透を防ぐために、村の団結を強めて信仰を監視するため 3. 農民の没落を防ぎ、幕府の主たる収入源である年貢を安定して確保するため 4. 全国の測量を正確に行い、海外との貿易で得た銀を年貢の代わりに納めさせるため
- 問11 18世紀末に、銃や旗を手にした多くの民衆が市街地で激しく戦い、国王による専制政治を打倒した市民革命が起こった国はどこか。この国では、革命後の混乱の中から軍人出身のナポレオンが台頭し、のちに皇帝としてヨーロッパの大部分を勢力下に置いた。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. ポルトガル 2. スペイン 3. ロシア 4. フランス
- 問12 1840年に勃発したアヘン戦争で、清が近代的な軍事力を持つイギリスに敗北したという情報は、当時の日本に大きな衝撃を与えました。この危機感から、薩摩藩や肥前藩などの諸藩が軍備を近代化するために、藩の財政を立て直す手段として強化した制度はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 領地内の全ての商人に自由な商売を認める楽市・楽座 2. 幕府が直接貿易を管理し、諸藩の介入を禁じる鎖国令 3. 凶作に備えて農民に食料を蓄えさせる配給制 4. 藩の特産物を強制的に買い上げて独占的に販売する専売制
- 問13 17世紀末から18世紀半ばにかけての江戸幕府の統計において、幕府領の石高（コメの生産高）が大幅に上昇している時期があります。これは、8代将軍が主導した改革の中で、幕府の財政安定を目指して行われた農地拡大の成果です。この農地拡大に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
1. 「検地」を全国規模でやり直し、隠し田を摘発することで統計上の石高を無理やり引き上げた。 2. 幕府が町人の資金なども利用し、荒れ地や海辺を切り拓いて新たな耕作地を作る「新田開発」を推進した。 3. 長崎貿易での金・銀の流出を抑えるために、農産物の輸出を制限して国内の流通量を増やした。 4. 「備中鍬」などの新しい農具を幕府が全農家に配布し、既存の耕作地の深耕を促すことで生産力を高めた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 歌川広重	江戸時代後半の化政文化を代表する浮世絵師です。それまでの浮世絵は美人群像や役者絵が主流でしたが、各地の名所を主役とした「風景画」という新しいジャンルを確立しました。その叙情的な作風は、後にゴッホをはじめとするヨーロッパの印象派の画家たちにも大きな影響を与えました。
問2	答え 4 幕府や藩が大規模な治水工事や灌漑事業を主導し、農民や町人の力も借りて積極的に耕地を増やしたため	江戸時代には高度な土木技術が発達し、大規模な河川の改修や干拓が可能になりました。これにより、一七二〇年ごろまでの約百年間で耕地面積は飛躍的に拡大しました。選択肢にある「墾田永年私財法」は奈良時代、「地租改正」は明治時代の出来事であり、江戸時代の社会状況とは異なります。
問3	答え 3 伊能忠敬	50歳という当時としては高齢で隠居した後、幕府の天文方であった高橋至時に弟子入りし、最新の測量技術を習得しました。当初は自費を投じて蝦夷地の測量を開始しましたが、その技術の高さと熱意が認められたことで、後に幕府の正式な事業として全国を測量することになりました。彼の作成した「大日本沿海輿地全図」は、当時の世界基準に照らしても極めて精度の高いものでした。
問4	答え 1 蔵屋敷	大坂は水上交通の要所に位置しており、全国から多くの物資が運び込まれました。諸大名は、領地で集めた年貢米や特産物を貨幣に換えるため、大坂に「蔵屋敷」と呼ばれる倉庫を兼ねた邸宅を構えました。こうした経済的な重要性から、大坂は日本の台所事情を支える場所という意味で「天下の台所」と称されました。
問5	答え 3 伊能忠敬が、日本全国を実際に歩いて測量し、精度の高い日本地図を作成した。	江戸時代には学問が多角的に発展しました。伊能忠敬は科学的な測量に基づいて精密な日本地図を完成させました。本居宣長は『古事記伝』を著した国学の第一人者であり、葛飾北斎は「富嶽三十六景」などの風景画で知られる浮世絵師です。近松門左衛門は、人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本家として活躍しました。
問6	答え 1 幕府や藩によるキリスト教徒への弾圧に加え、凶作の中でも領主が重い年貢を課したこと	島原・天草一揆は、単なる宗教的な対立だけで発生したものではありません。当時の島原藩や天草地方（唐津藩領）では、キリスト教徒に対する激しい拷問を伴う弾圧が行われる一方で、領主たちが農民の生活を顧みず、極めて厳しい年貢（税）の取り立てを強行していました。こうした宗教的・経済的な二重の苦境に追い詰められたことが、大規模な蜂起につながりました。
問7	答え 4 アユタヤ	アユタヤは現在のタイに位置するアユタヤ王朝の首都で、朱印船貿易の時代に最大級の日本町が置かれた。山田長政は、この地でアユタヤ王室の信望を得て、政治や軍事の面で高官として活躍した。選択肢のマニラは現在のフィリピン、ジャカルタは現在のインドネシアに位置する都市である。
問8	答え 4 幕領の石高に対する年貢高の割合を高く維持し、収入の安定と増加を図った	吉宗の時代は、江戸時代を通じて幕府の年貢収入が非常に高い水準にありました。吉宗は「米将軍」と呼ばれるほど米による財政基盤を重視し、それまでの豊凶に応じて年貢率を決める「検見法」から、一定期間の平均収穫量をもとに年貢率を固定する「定免法」へ転換するなどして、確実な年貢収入を確保し、財政の再建を目指しました。
問9	答え 1 幕藩体制	江戸幕府が確立した「幕藩体制」は、強力な中央政権である幕府と、各地方を治める藩が役割を分担する仕組みです。この制度が整ったことで、それまでの戦乱の時代（中世）から、平和で安定した近世社会へと移行することが可能になりました。
問10	答え 3 農民の没落を防ぎ、幕府の主たる収入源である年貢を安定して確保するため	江戸幕府の財政は、農民が納める米（年貢）に大きく依存していました。もし農民が生活に困窮して土地を手放したり、換金性の高い商品作物の栽培にばかり偏ったりすると、幕府にとって最も重要な収入源である年貢の納入が不安定になる恐れがありました。そのため、農民の経営基盤である土地を維持させ、確実に年貢を徴収し続けることを目的として、一連の農業制限策が実施されました。
問11	答え 4 フランス	1789年に始まったフランス革命を指します。身分制に対する不満から民衆が蜂起し、人権宣言を採択して自由と平等の理念を掲げました。その後、革命の混乱を収拾したナポレオンが皇帝となり、軍事力によってヨーロッパ全土に大きな影響を及ぼしました。
問12	答え 4 藩の特産物を強制的に買い上げて独占的に販売する専売制	アヘン戦争での清の敗北を知った日本の諸藩は、欧米列強に対抗するための軍事力強化を急ぎました。特に薩摩藩や肥前藩は、黒砂糖や磁器などの特産物を藩が安く買い上げ、都市部で高く売る「専売制」を徹底することで財政を立て直しました。こうして蓄えた資金をもとに、鉄製の大砲を作るための反射炉を建設するなど、最新の軍事技術の導入を進めました。
問13	答え 2 幕府が町人の資金なども利用し、荒地地や海辺を切り拓いて新たな耕作地を作る「新田開発」を推進した。	8代将軍の徳川吉宗が行った「享保の改革」では、慢性的な幕府の財政難を解消するため、年貢の増収が最優先課題とされました。その一環として、それまで手付かずだった荒地地や、海辺の干拓、沼地の干上がりなどを利用して耕地を広げる「新田開発」が積極的に奨励されました。この政策により、18世紀前半から幕府領の石高は大きく上昇し、財政再建に大きく貢献しました。備中鍬などの農具の普及は農村自体の生産力向上には寄与しましたが、幕府主導の石高上昇の主な要因は耕地面積そのものの拡大にあります。